

令和2年度食の安心・安全アンケート調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

府民の食の安心・安全に係る意識を把握し、京都府における食の安全や信頼性の確保の推進に資する。

(2) 調査対象

京都府広報モニター

(3) 調査方法

インターネット調査

(4) 実施期間

令和3年3月

(5) 回答人数

616人

(6) 調査項目

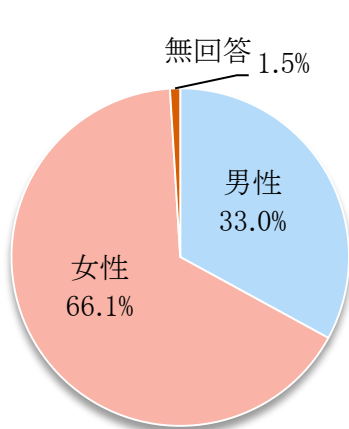
- ア 食品の安全に対する意識
- イ 食品の安全について関心のあること
- ウ 食品の安全に関する情報の情報源
- エ 食品の安全に関して気をつけていること
- オ 食品の安全について行政に行ってほしいこと

【京都府広報モニター】

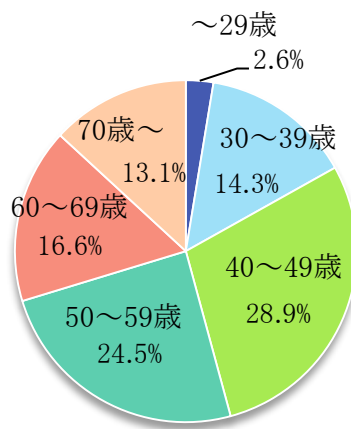
- 趣 旨 府民参加による開かれた府政の推進を目的として、府が行う広報活動についてアンケート調査を実施し、府政運営の参考とする。
- 活動内容 府が行う広報活動に対する、インターネットを利用したアンケート調査への回答など。
(年12回程度)

2 回答者の属性

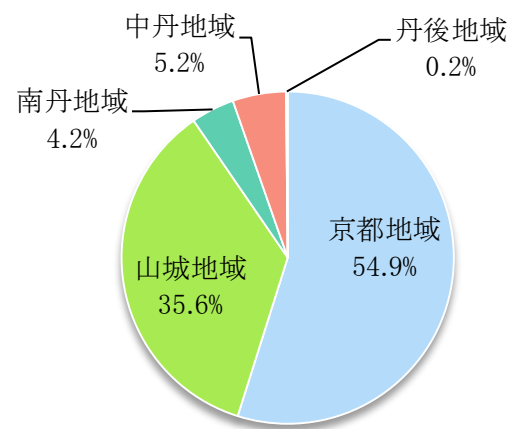
区 分		回答数	%
全 体		616	100.0
性 別	男性	203	33.0
	女性	407	66.1
	無回答	6	1.0
年 齢	20代以下	16	2.6
	30代	88	14.3
	40代	178	28.9
	50代	151	24.5
	60代	102	16.6
	70代以上	81	13.1
居住地域*	京都地域	338	54.9
	山城地域	219	35.6
	南丹地域	26	4.2
	中丹地域	32	5.2
	丹後地域	1	0.2



① 性 別



② 年 齢



③ 居住地域

【居住地域の区分】

京都地域：京都市、向日市、長岡京市、大山崎町
 山城地域：宇治市、八幡市、久御山町 以南
 南丹地域：亀岡市、南丹市、京丹波町
 中丹地域：福知山市、舞鶴市、綾部市
 丹後地域：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

3 調査結果

問1 京都府の食の安心・安全について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。「どちらかといえば不安」「不安」を選んだ方はその理由もお書きください。

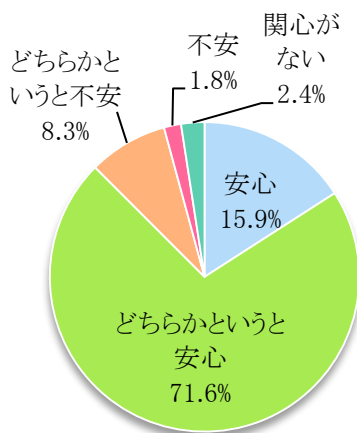
	回答数	割合 (%)
安心	98	15.9
どちらかといえば安心	441	71.6
どちらかといえば不安	51	8.3
不安	11	1.8
関心がない	15	2.4
合計	616	100.0

【「どちらかといえば不安」「不安」と回答した主な理由】

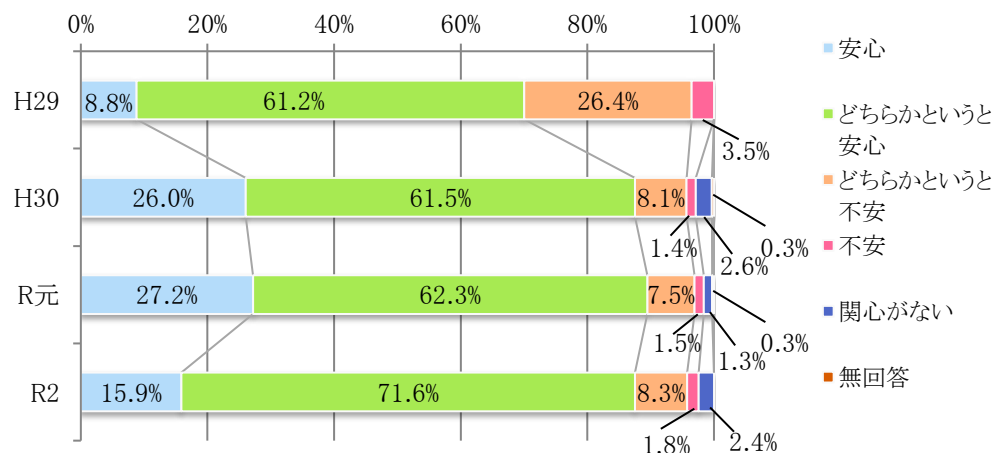
- ・食品汚染や残留農薬などの問題、偽造表示に関しては自分では守りきれないところ
- ・輸入食品などが増えたり偽造など心配
- ・使用農薬のわかりやすい表示、農地への負担
- ・加工生産現場の確認や配送や保存について、販売まで安全に管理されているのか分からない
- ・農薬
- ・遺伝子組み換えなど海外で禁止されているものが日本では使われている
- ・府民だよりなどでどのような検査をしているのかとか京都独自の基準はあるのかなど情報を発信して頂けたら安心感が増すと思う

結果概要

- ・「安心」又は「どちらかというと安心」と感じる方の割合は、87.5%とほぼ横ばいです。
- ・一方「安心」と感じる方の割合は10ポイント以上減少しています。



① 項目別



② 年度別

※H28年度は設問なし。H30年度から「関心がない」選択肢を追加。

問2 食品の安全について、あなたが特に関心をもっていることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

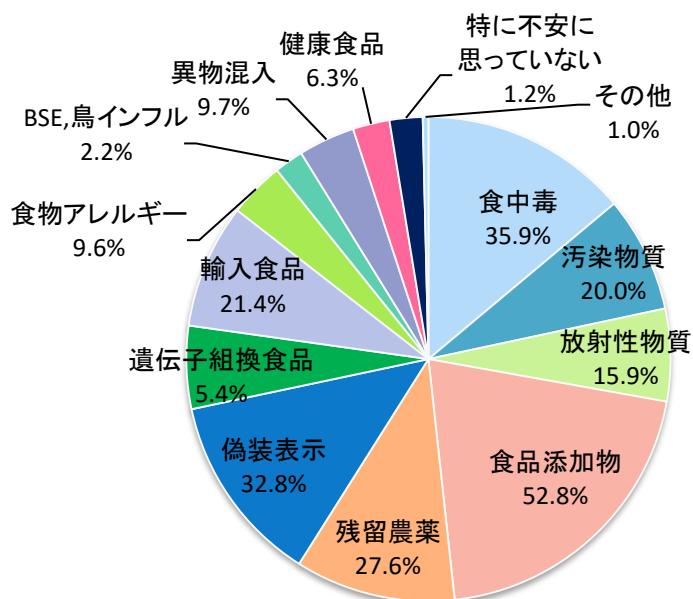
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
食中毒 (O157、ノロウイルスなど)	221	13.9	35.9
汚染物質 (メチル水銀、カドミウムなど)	123	7.7	20.0
食品中の放射性物質 (放射性セシウムなど)	98	6.2	15.9
食品添加物	325	20.5	52.8
残留農薬	170	10.7	27.6
偽装表示 (産地、原材料、賞味期限など)	202	12.7	32.8
遺伝子組換え食品	88	5.5	14.3
輸入食品	132	8.3	21.4
食物アレルギー	59	3.7	9.6
BSE (牛海綿状脳症)、鳥インフルエンザ	31	2.0	5.0
食品への異物混入	60	3.8	9.7
健康食品	39	2.5	6.3
特に不安に思っていない	35	2.2	5.7
その他	6	0.4	1.0
合計	1589	100.0	

【その他の主な意見】

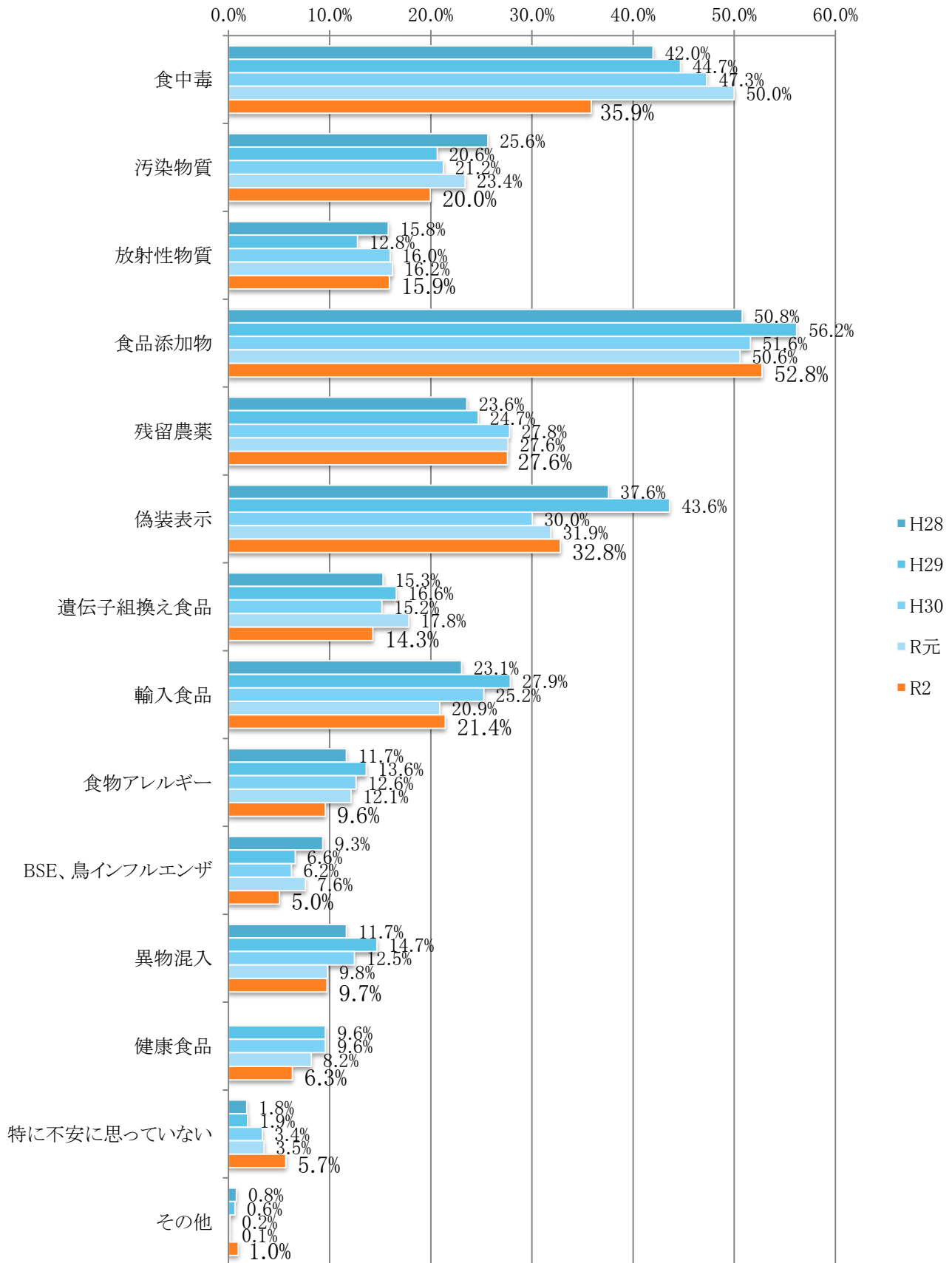
- ・すぐには健康に影響しなくても継続して摂取すると健康に影響があるもの
- ・賞味期限、新鮮さ、店頭での保存環境はどうか

結果概要

- ・昨年度と同様に「食品添加物」に関心を持っている方が多い傾向です。
- ・「食中毒」に対する関心は大きく減少しています。



① 項目別



② 年度別

※H30年度から「健康食品」選択肢を追加。

問3 あなたは、食品の安全に関する情報について、どこから得ることが多いですか。
次の中からいくつでも選んでください。

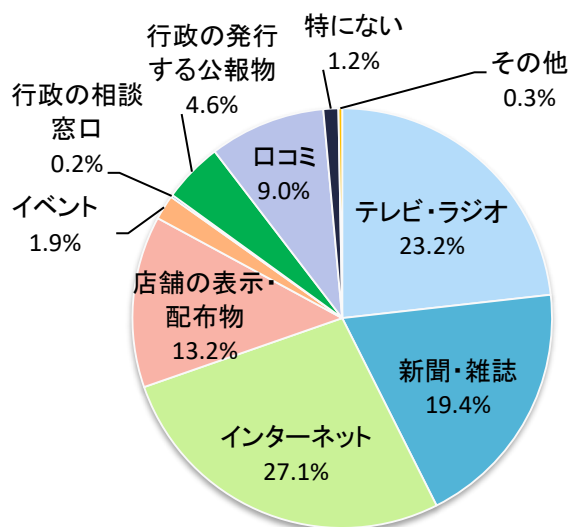
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
テレビ・ラジオ	402	23.2	65.3
新聞・雑誌	335	19.4	54.4
インターネット (HP、ブログ、SNS など)	469	27.1	76.1
スーパー、小売店、宅配などでの表示や配布物	229	13.2	37.2
イベント (講演会・シンポジウムなど)	33	1.9	5.4
行政の相談窓口	3	0.2	0.5
行政の発行する広報物	80	4.6	13.0
口コミ (友人・家族・従業員など)	155	9.0	25.2
特にない	20	1.2	3.2
その他	5	0.3	0.8
合計	1731	100.0	

【その他の主な意見】

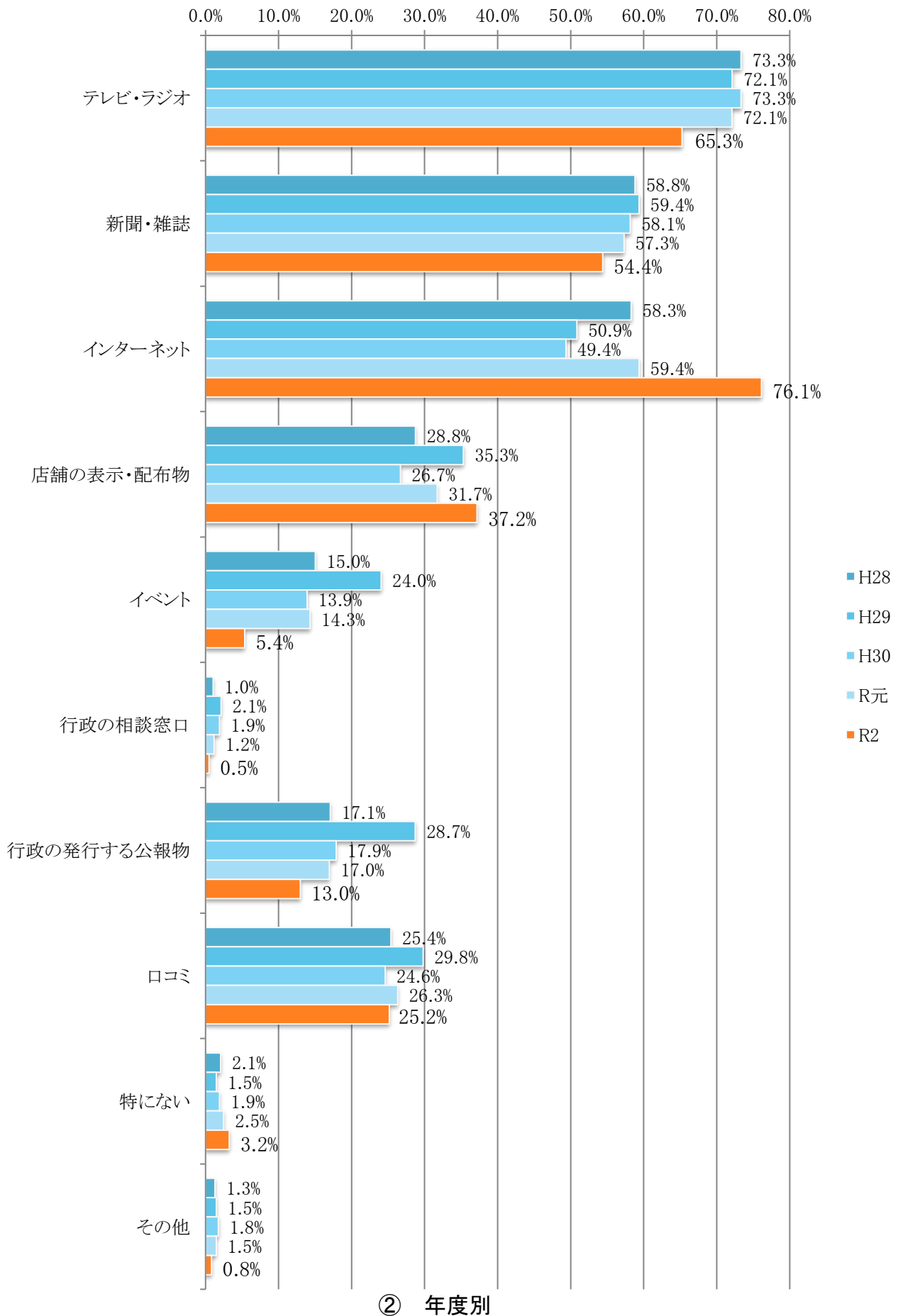
- ・書籍
- ・正しい知識が手に入る文献

結果概要

- ・インターネットから情報を得ている方の割合が、大きく増加し、初めて1位になりました。



① 項目別



問4 あなたは、食品を購入する時に、食品の安全についてどのような点を考慮していますか。次の中から**3つまで**選んでください。

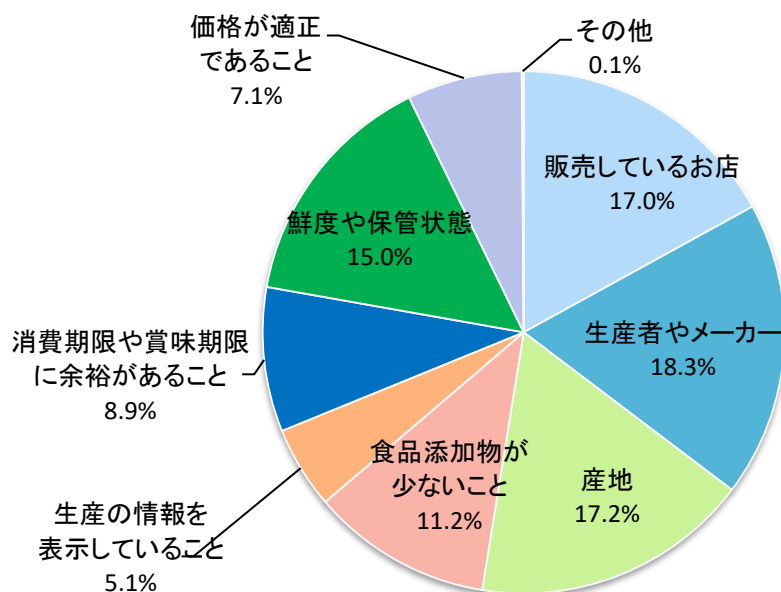
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
販売しているお店が信頼できること	287	17.0	46.6
生産者やメーカーが信頼できること	309	18.3	50.2
産地	291	17.2	47.2
使用されている食品添加物が少ないこと	189	11.2	30.7
生産者の名前など生産の情報を表示していること	86	5.1	14.0
消費期限や賞味期限に余裕があること	151	8.9	24.5
鮮度や保管（保存）状態が良いこと	253	15.0	41.1
価格が適正であること	120	7.1	19.5
その他	2	0.1	0.3
合計	1688	100.0	

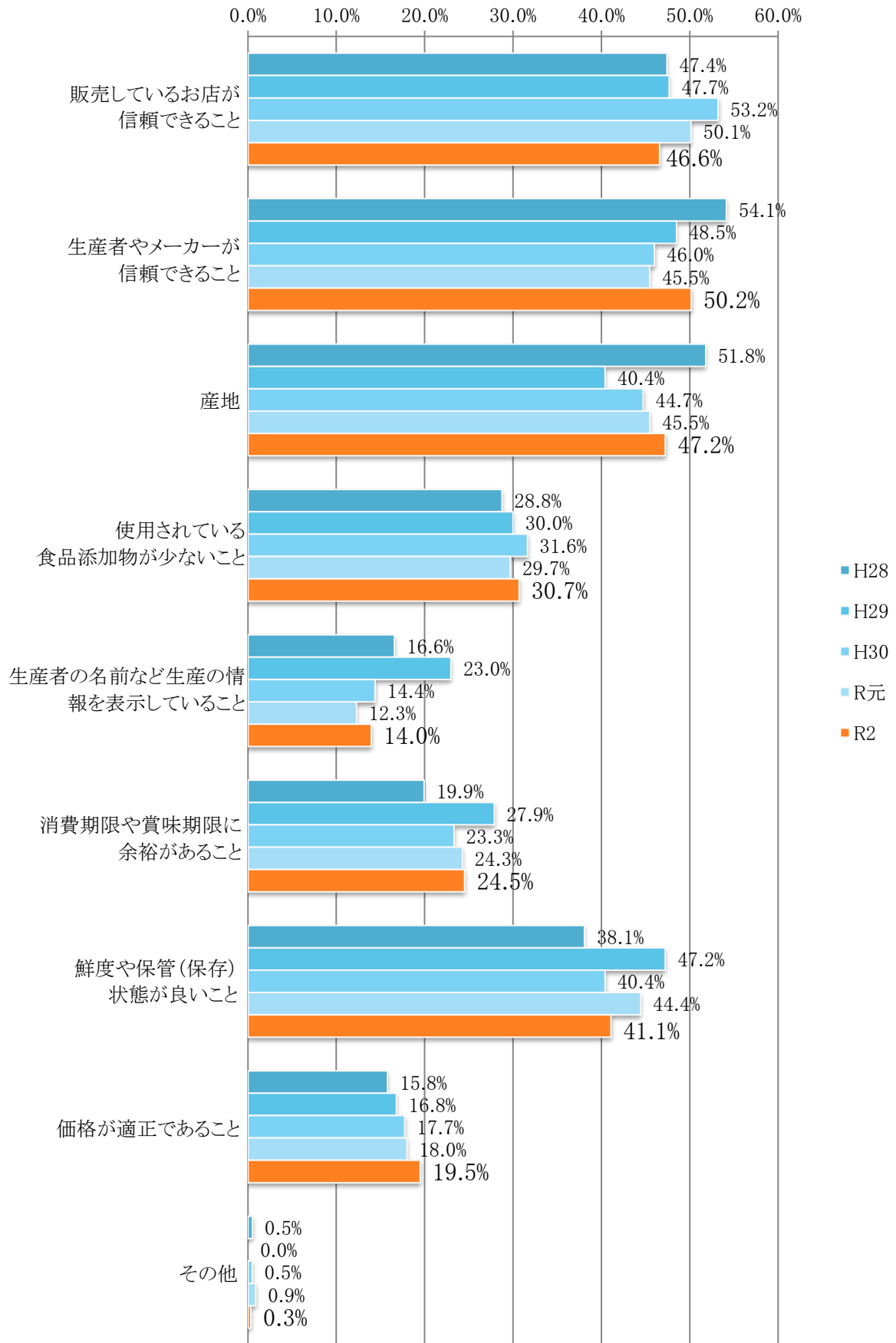
【その他の意見】

- ・安全面は考えたいと思っているが、経済的な理由で見切り品を買わざるを得ない

結果概要

- ・食品そのものよりも製造者、販売者、産地などへの信頼感を購入の際の判断材料にされる方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。





問5 食品の安全を高めるために、京都府がさらに強化すべき取組は何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

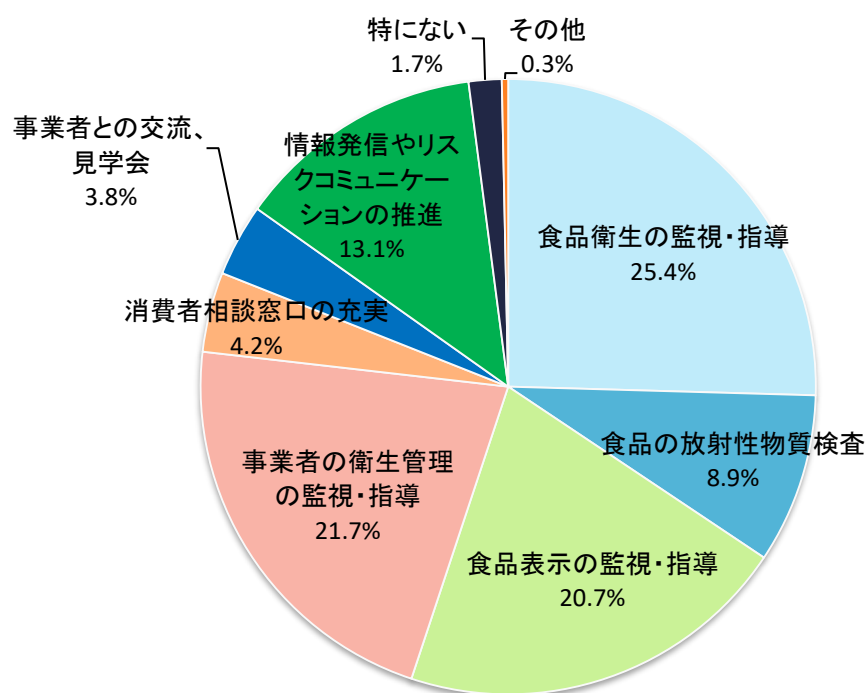
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
残留農薬や食品添加物の検査などの食品衛生の監視・指導	382	25.4	62.0
食品の放射性物質検査	134	8.9	21.8
食品表示の監視・指導	311	20.7	50.5
食品工場や売り場など事業者の衛生管理の指導・支援	326	21.7	52.9
消費者相談窓口の充実	63	4.2	10.2
消費者と食品事業者の交流会や食品工場の見学会などの開催	57	3.8	9.3
消費者への分かりやすい情報発信やリスクコミュニケーションの推進	197	13.1	32.0
特にない	26	1.7	4.2
その他	5	0.3	0.8
合計	1501	100.0	

【その他の主な意見】

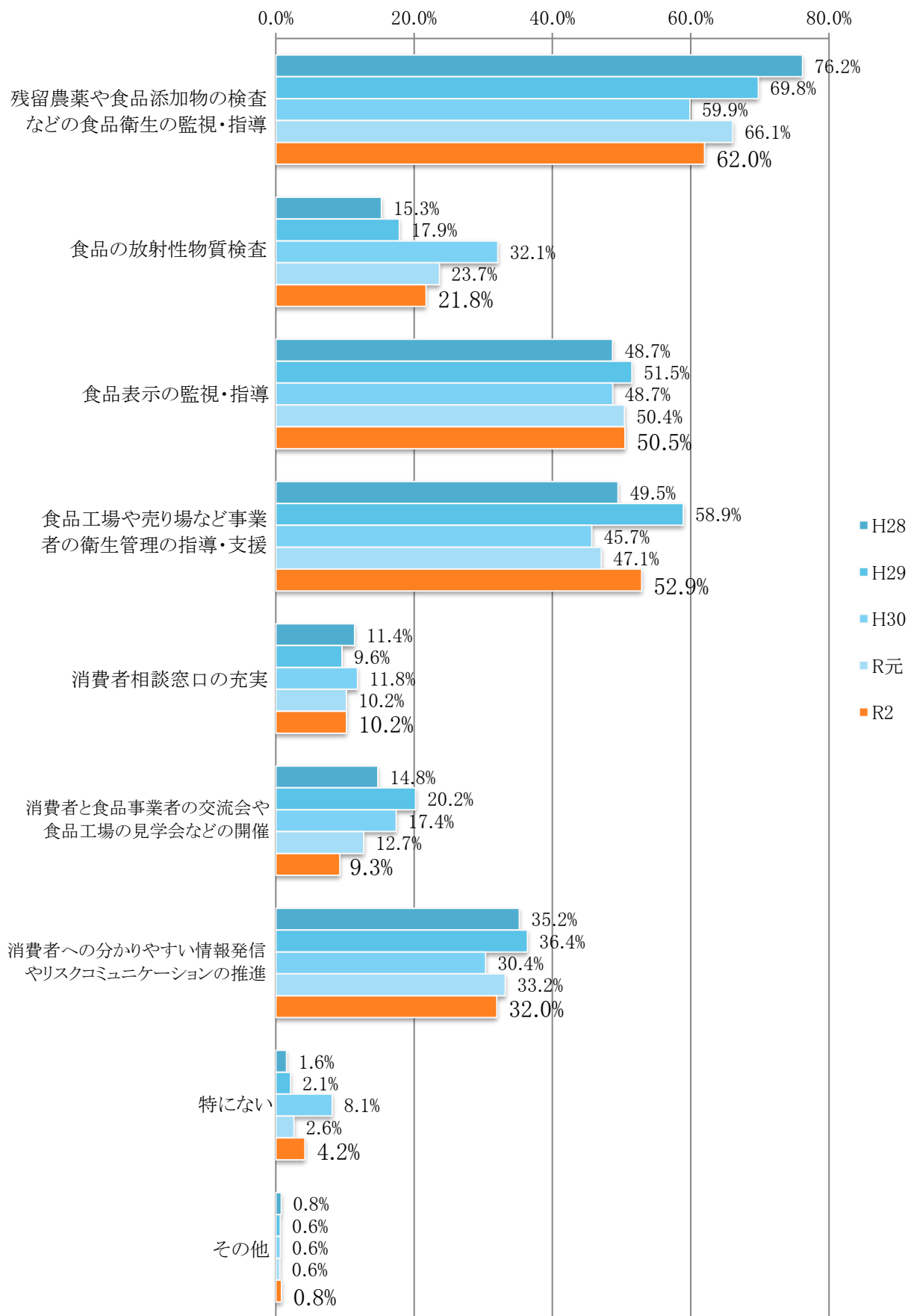
- ・食品衛生等の諸法律に抵触した事業者に対し、ペナルティを重くする方がよいと思う
- ・規格外などの食品や期限の取扱いなど、食品ロスへの取組が安全にもつながるように思う
- ・抜き打ちテスト

結果概要

- ・事業者に対する監視・指導や支援の取組、特に衛生管理を強化してほしいと考える方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。



① 項目別



② 年度別